

たんけん 雪が解けたら、春になる「ミズバショウ沼公園」



新緑



キンクロハジロ



ザゼンソウ



アオジ



沼を一周しながら、かわいらしいミズバショウを見ることができます

写真を見ると、ミズバショウとザゼンソウがなんとなく似ているような気がした方がいると思います。それもそのはず、両方ともサトイモの仲間、イモもできます。しかしながら、葉、茎、根にいたるすべてに、シユウ酸カルシウム、サポニン・アルカロイドといった毒を含んでいるため、触ったり、食べたりせず眺めるだけにしてください。

ミズバショウは、今回紹介したミズバショウ沼公園、過去紹介した青森市の原別稲荷神社など4月中旬〜5月上旬ごろ県内各地で咲きます。皆さんの地域にもミズバショウがみられる場所があるかもしれませ

津軽岩木スカイラインの嶽(だけ)温泉と湯段(ゆだん)温泉の中間地点にある「常盤野農村公園」は、通称「ミズバショウ沼公園」と呼ばれ、古くからミズバショウの群生地として知られています。4月下旬〜5月上旬に見頃を迎え、ミズバショウを見に来た人や撮影に来たカメラマンでにぎわいます。時期が合えば、周辺にはオオヤマザクラも咲いており、一緒にサクラとミズバショウを近場で楽しむことができます。

公園内には、白く可憐なミズバショウ以外にも、紫褐色の大きな仏炎苞(ぶつえんほう)を仏像の光背に、中の黄色い花を座禅を組む僧侶の姿のように見えることから名づけられた「ザゼンソウ」がところどころに咲いています。ミズバショウと比べると数が少なくひっそり咲いているので、よく探してみてください。このザゼンソウの真ん中の玉は肉穂花序(にくすいかじよ)と呼ばれ、黄色い粒に見えるのが花です。ザゼンソウの肉穂花序は、25℃くらいまで発熱する珍しい性質があり、周りの雪を溶かして、いち早く地上に

でたり、訪花昆虫の活性が低い寒い時期に、昆虫を誘引して受粉機会を得るといふ生存戦略をとっています。



ザゼンソウの肉穂花序

八戸地域でサニタリドライブを実施。寄付で集まった衛生用品を八戸市で社会福祉に従事する団体へ寄付しました。



八戸市社会福祉協議会にて



ワーカーズコープ・センター事業団にて

八戸地域では、従来からいけ店でサニタリドライブを実施していますが、この度、八戸センターが五所川原地域と同じく宅配でもサニタリドライブを実施しました。るいけ店・八戸センターの協力でおこなわれた取り組みで集まった寄付品を2月21日(金)に、青山理事と加藤理事、職員で八戸社会福祉協議会と労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団八戸・階上地域福祉事業所を訪問し寄付しました。寄付品は団体から必要としている人に配布されます。八戸市社会福祉協議会への寄付品は、2月23日(日)に実施された子ども宅食おすそわけ便で活用されました。ご協力いただいた皆様へ感謝申し上げます。

寄付品が活用されています。

3月号で掲載いたしました。五所川原地域と浪岡センターのサニタリドライブで寄付した衛生用品が2月22日(土)に実施された「五所川原おすそわけ便」のパントリー(選んで持ち帰る方式)で必要としている方に配布されました。

また、五所川原事務所を事前に申し込みのあった方への受け取り場所として提供すると共に組合員・職員のボランティアで受け取りに来た方へお渡ししました。



五所川原事務所でのお渡しの様子



パントリーでの設置の様子